

婦人科

1. スタッフ

科 長 (教 授) 鈴木 光明
 副 科 長 (教 授) 松原 茂樹
 外来医長 (教 授) 柴原 浩章
 病棟医長 (講 師) 竹井 裕二
 医 員 (准教授) 藤原 寛行
 (講 師) 嵯峨 泰
 (学内講師) 鈴木 達也
 町田 静生
 (助 教) 種市 明代
 平野 由紀
 病院助教 佐藤 尚人
 高橋寿々代
 池田 伴衣
 シニアレジデント 5名

2. 診療科の特徴

当科は特に、卵巣癌、子宮頸癌、子宮体癌の集学的治療を得意としている。婦人科悪性腫瘍数は全国大病院のベスト3に数えられ、とくに難治性の卵巣癌の紹介が多く、北関東の中核病院として活躍している。また子宮内膜症をはじめとする良性疾患に対しても専門的に治療、研究を行っており、幅広い患者さんを診療している。

認定施設

日本婦人科腫瘍学会認定専門医制度指定修練施設
 婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構認定登録参加認定施設
 日本周産期新生児学会認定基幹施設

専門医

日本産科婦人科学会専門医 鈴木 光明 他30名
 細胞診専門医 鈴木 光明
 日本婦人科腫瘍学会専門医 鈴木 光明
 藤原 寛行
 日本がん治療認定医機構暫定教育医 鈴木 光明
 藤原 寛行
 嵯峨 泰
 竹井 裕二
 日本がん治療認定医 鈴木 光明
 竹井 裕二
 日本生殖医学会生殖医療指導医 柴原 浩章
 藤原 寛行
 高見 澤聡
 鈴木 達也
 平野 由紀

International Gynecological Cancer Society, Active member
 鈴木 光明
 American Society of Clinical Oncology, Active member
 鈴木 光明
 American Society for Reproductive Medicine, Active member
 柴原 浩章
 American Society for Reproductive Immunology, Active member
 柴原 浩章
 International Society for Immunology of Reproduction, Active member
 柴原 浩章

3. 診療実績

1) 新患者数・再来患者数・紹介率

新患者数 2,258名
 再来患者数 38,090名
 紹介率 53.5%

2) 入院患者数 (病名別)

1,771名 病名別
 卵巣腫瘍 (良性・悪性含む) 837
 子宮頸癌 (頸部異形成含む) 352
 子宮筋腫 150
 子宮体癌・子宮肉腫 125
 子宮外妊娠 31
 子宮脱 24
 その他 252

3-1) 手術症例病名別件数

子宮頸癌 (0期を含む) 85
 子宮体癌 47
 子宮肉腫 3
 卵巣癌 (境界悪性を含む) 67
 膣癌 0
 絨毛癌 0
 外陰癌 1
 卵管癌 0
 原発不明 2
 悪性小計 205
 CIN 29
 子宮筋腫 133
 良性卵巣腫瘍 135
 子宮外妊娠 31
 子宮脱 24
 その他 44
 良性小計 396
 合計 601

4-2) 手術術式別件数・術後合併症件数

腹式単純子宮全摘 (TAH)	204
膣式単純子宮全摘 (脱根治含む)	26
広汎子宮全摘	25
準広汎子宮全摘	13
筋腫核出	42
付属器切除 (開腹)	100
卵巣嚢腫核出術 (開腹)	37
付属器切除・卵巣嚢腫核出術 (腹腔鏡)	25
卵管切除 (開腹)	15
卵管切除 (腹腔鏡)	13
円錐切除	58
その他	43
合計	601

5) 化学療法症例・数

レ ジ メ ン	件 数
TC	363
254S+CPT-11	282
CCRT	105
GEM	90
IAP	33
DC	21
254S+D	9
その他	120
合 計	1,023

化学療法マニュアル

病棟にて保管

主要レジメンは薬剤部提出済み

6) 放射線療法症例・数

疾 患 名	件 数
子宮頸癌	47
子宮体癌	5
卵巣癌	3
膣癌・外陰癌	3
肉腫	1
合 計	59

7) その他の治療 (免疫療法等) 症例・数

免疫療法 0例

8) 悪性腫瘍の疾患別および臨床進行期別治療成績 (5年生存率 (%))

	I	II	III	IV
子宮頸癌	92	77	57	30
子宮体癌	95	88	58	18
卵巣癌	87	70	53	31

9) 死亡症例 死因・剖検数・率

死因病名	死亡数	剖検数	率(%)
卵巣癌,卵管癌,腹膜癌	13	4	31
子宮頸癌	8	1	13
子宮体癌	3	0	0
計	24	5	21

10) 主な処置・検査

子宮頸部、体部細胞診・組織診
 コルポスコピー
 経膣超音波検査
 子宮鏡
 腹腔鏡など

11) カンファランス症例

(1) 診療科内

教授回診：毎週水曜日
 病理検討会：毎週水曜日
 准教授チャートラウンド：毎週月曜日

(2) 多科との合同

(3) 他職種との合同

(4) その他 (他病院等)

(2)~(4)は定期的開催未施行。症例ごとに適宜カンファ施行。

4. 来年度の目標

- 1) 婦人科悪性腫瘍：地域の中核として、悪性疾患患者を受け入れ、手術、化学療法、放射線療法などを用いた集学的治療にあたる。また、新知見が発信できるよう基礎、臨床研究にも努める。特に臨床研究においては、積極的に多施設共同研究や治験へ参加していく。
- 2) 婦人科良性疾患：子宮筋腫、子宮内膜症などをはじめとする、女性の生活の質を低下させる疾患群に対し介入し改善に努める。
- 3) 不妊：系統的な検査とともに、心理面を含めた適切な対応と専門的な治療をご夫婦に対して行っていく。
- 4) ターミナルケア：末期患者を全人的に理解し、身体症状のコントロールだけでなく心理社会的側面、死生観・宗教観などへの側面へも対処できるように、医療者側も人間形成に努める。